

2022

年次報告書

ANNUAL REPORT
2022-2023



代表あいさつ

2010年に有志と共に立ち上げたわくわーく。
気が付けば13年という年月が経ちました。

事業のひとつとして始めようとしていた障がい福祉サービス事業所を開設するには法人格が必須でした。

何も知識のない私たちは、自分たちの身の丈で作れる法人としてNPO法人という形を選び活動を開始しました。

NPOが何たるものかなど説明ができるようなスキルも、資金も全く持ち合わせていない中での無謀なスタートだったと振り返ります。

しかし、そんなわくわーく。そこからのさまざまなヒト、モノ、コトとの奇跡のような出会いが重なり今、活動を続けることができます。

この度、これまで応援してくださった皆様、これからご協力いただく皆様にわくわーくの活動をしっかりとお伝えするために実質初めてとなる「年次報告書」を製作しました。現状のわくわーくを知っていただき、「互いを認め合い、こころ穏やかに安心して暮らせる社会」を共に創っていきませんか？
感謝をこめて。



理事長 小橋 祐子

Contents

わくわーくとは／2022年度ハイライト	P1
特集：Be Happy プロジェクト	P2-5
2022年度事業報告	P6-9
数字で見るわくわーく	P10
2023年度事業計画	P11
わくわーくを応援するには	P12
Be Happy Partnerのご紹介	P13-16

わくわーくとは

現在の社会は情報や物があふれ、ライフスタイルも多様化しています。その反面、仕事や人間関係、生活環境などにより、ストレスを感じている人が少なくありません。からだやこころの病は、ご本人や身近な人だけの問題ではなく、社会背景が大きく関わる問題であるといっても過言ではありません。



▲イメージキャラクター
ポッチ&わーく

わくわーくは、精神障がいを持つ方のさまざまな場面に長年携わった有志が集まり、設立に至りました。精神障がいを持つ方のみならず、地域のさまざまな方が自分のまちで心豊かに暮らすために役立つ活動を行い、地域の社会資源となるものをみなさまと共に創り出したいと考え活動する団体です。



▲外観

【団体概要】

- ・団体名：NPO 法人わくわーく
- ・設立：2010年5月
- ・活動地域：福岡県北九州市
- ・理事長：小橋祐子
- ・役員数：7名
- ・職員数：5名



2022年度のハイライト

1. Be Happy プロジェクトの3つのプロジェクトが民間助成事業として2年にわたり採択される。(JTSDGs貢献プロジェクト・ノエビアグリーン財団・ファイザープログラム)
2. KAMIKURUプロジェクトが北九州のSDG-Xリーディングプロジェクトの一つの事業として採択され、企業・大学・NPOが共同体となってシステムを構築し、サーキュラー&シェアリングエコノミー等の実現を図る。
3. 令和4年度内閣府バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰／内閣府特命担当大臣優良賞を受賞する。

Be Happy プロジェクト 始動!

2022年度よりスタートした「Be Happy プロジェクト」。
私たちは多くのみなさまと共に、このプロジェクトをつくり上げていきたいと考えています。

Be Happy プロジェクトとは

わくわーくでは、大きく3つの柱を立てて事業に取り組んでいます。障がいを持つ当事者への就労支援や生活支援、ご家族等への福祉に関する相談の場、当事者への支援を担う人材の育成事業などを(1) 就労・生活支援【障がい福祉サービス事業所 BOCCHI】で、多世代多様な方たちが集う「場」の提供を行う事業を(2) 地域コミュニティ【多世代交流スペースくるくる】で、そして、その両方をつなぐ「コト」をたくさん実践するのが(3)【Be Happy プロジェクト】です。

障がいを持ち、人とコミュニケーションをとることが苦手な方の場合



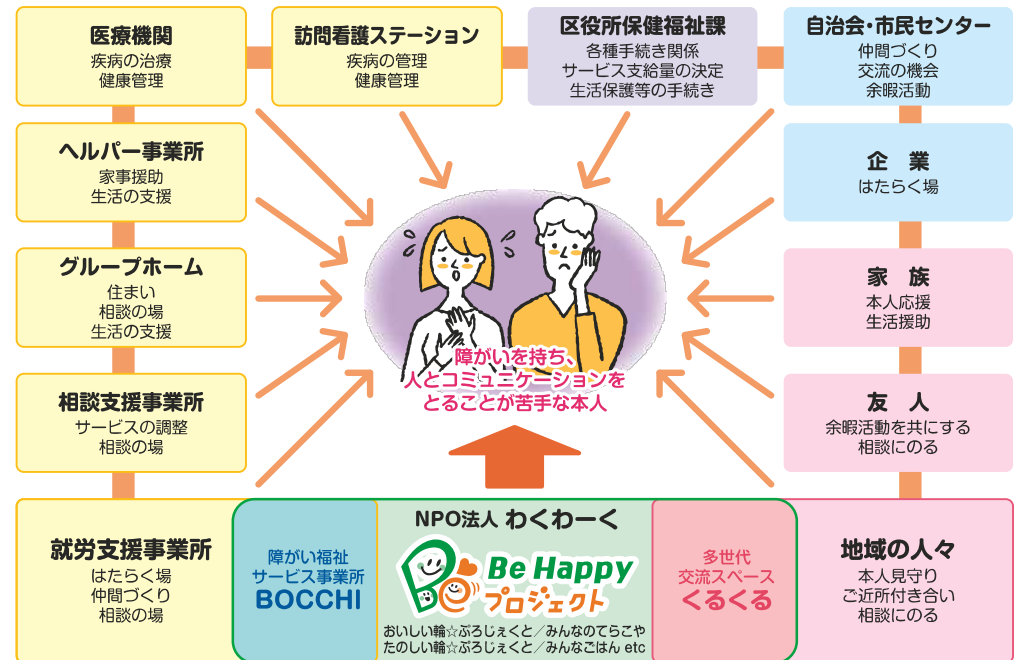
障がいのある人たちも地域の一人としてまちで暮らしています。病気や障がいのために対応しづらいこと(例:食事や睡眠、服薬等を適切にできない、公共料金の支払いや地域で暮らしていくための必要な手続きがうまくできない、仕事がうまくできない等)があるために、「困った人」と間違った捉え方をされてしまうことも少なくありません。また、障がいを持つ本人自身もその困難さに気づけず、つらい思いをする方もいます。

障がい者の就労状況では、わくわーくが運営するBOCCHIのような就労継続支援

B型事業所を利用する方たちの2020年度の平均工賃(賃金)は15,776円/月、時給にすると222円という結果が出ており、多くのみなさんが生活に困窮している状況です。

厚生労働省が2018年度に実施した障がい者の雇用実態調査結果では、企業が障がい者を雇用しない理由として、「適した業務がないから」がどの障がい種別でも80%程度を占めています。他にも「障がい者雇用についてイメージがわからない」「職場になじむのが難しいと思われる」などの回答もなされています。

問題解決に必要な役割



出会う気づき、わかって生み出すうれしい実践

公的財源 事業収入
財源: 寄付金・助成金

障がいに関する理解を深めるには、さまざまなつながりが必要です。障がいを持ち、人とコミュニケーションをとることが苦手な方も、行政サービスや医療機関、住まいや生活をサポートする支援機関である事業所などとのつながりは少なからずあります。家族や友人、ご近所さんなど、インフォーマルな方たちとのつながりは人それぞれかもしれません。

しかし、その多くは「支援を受ける」ことが中心で、ともに何かを実践するということはほとんどないのが現状です。ともに何かを実践する場やコトがたくさんつくられ、交流する中で互いを知り、気づきが得られることで、障がいに関する理解も深まっていくと考えますが、その役割を果たす担い手が地域には足りていません。

Be Happy プロジェクトで実現したいこと

Be Happy プロジェクトは、たくさんのプロジェクトを通して障がいのある方の仕事や役割が増え、やりがいや生きがいを見つけられるようになることをめざしています。多様な人との協働が増え、障がいのある方が地域で活躍できるようになるとともに、収入アップにもつなげていきたいと考えています。また、本プロジェクトにパートナーとして参画する企業や団体と地域の課題を共有し、活動の参加者を増やすことで、多様な人の存在を認められる地域づくりにもつなげていきます。

KAMIKURU プロジェクト

～紙の循環から始める地域共創プロジェクト～

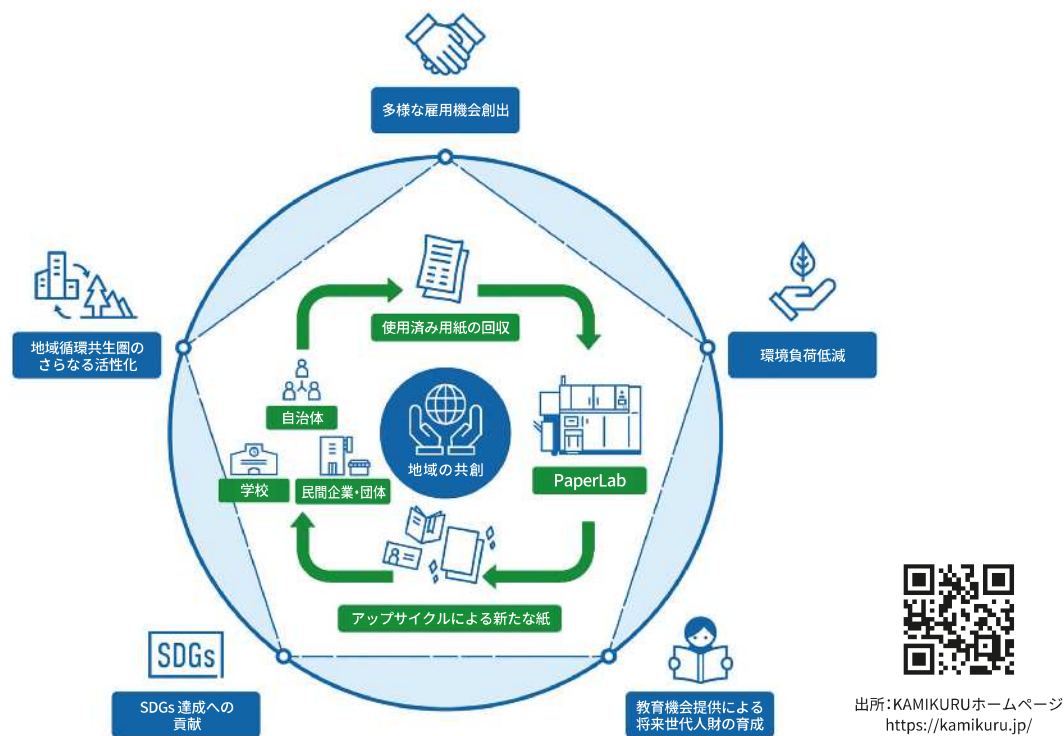
現在実施しているプロジェクトの中からひとつ、「KAMIKURUプロジェクト」を紹介します。

私たちがのような事業所では、働く人の賃金の低さが問題です。お菓子づくりや企業様からの委託作業だけでなく、新たに分配できるお金を生み出していく必要があります。KAMIKURUプロジェクトは、環境に配慮しているという面でも社会的意義が大きく、働く側のやりがいや付加価値を生み出す仕事だと感じ、2020年から開始しました。



▲集められた古紙の仕分け作業

障がいのある方が携わる仕事というと、単純作業が多いイメージがありますが、本プロジェクトは古紙の回収にとどまらず、仕分けやアップサイクル品の加工など、仕事の幅に広がりがあります。古紙の回収では企業や自治体、学校などを回り、地域との接触機会が増えることで、障がいのある方の雇用に対する理解が深まる効果もあります。また、作業場のある「九州ヒューマンメディア創造センター」に通うことも、利用者の楽しみのひとつになっています。



出所: KAMIKURUホームページ
<https://kamikuru.jp/>

スタッフの声

新しい環境と慣れない作業に緊張する日々でしたが、今では作業のペースも上がり、多くの方に声をかけていただきながら楽しく仕事に取り組んでいます。一緒に働いてくれる仲間が増えるとうれしいです。



渡邊史織

利用者の声

役割ができたことが良かったと思う。(柴田)
 体力がついてきた。(森下)
 ちゃんと通えるようになった。(今泉)



柴田さん

森下さん

今泉さん

再生紙使用者の声

古紙から作る卒業証書！生徒全員で集めた何千枚という古紙を丁寧な仕分け作業で綺麗な卒業証書に生まれ変わらせていただきました。これからもカラフルな卒業証書を卒業生に送りたいと思います。今後も共に成長していきましょう！



中間高校 教諭
 水田 大様

KAMIKURUプロジェクトの今後の課題は、アップサイクル品をいかに生み出していくかです。再生紙の名刺やノート、封筒などは他にもあるため、なぜこの紙を使うのかを訴求し、差別化できるオリジナル製品を生み出していきたいと考えています。また、「KAMIKURU」を通して関わる企業や団体がこれまでにないスピードで増えています。障がい者雇用に関心がある企業等の相談に乗りながら、自分たちの仕事の幅を広げていきたいです。

SDGs目標年の2030年度までに 「誰一人取り残さない」北九州市をめざして



私たちは、Be Happyプロジェクトが進み続けていくことで、障がい者への理解だけでなく、社会で課題とされているあらゆる事柄に関する解決の糸口が見つかる可能性があると考えています。その糸口を地域のさまざまな方と一緒に知り、理解して認め合いながら、みんながうれくなる実践をどんどん生み出していきます。そして、2030年までには北九州市内でのうれしい輪(であう→きづく→わかる→うごく)が日常的に繰り返され、広がっている状況をめざしています。

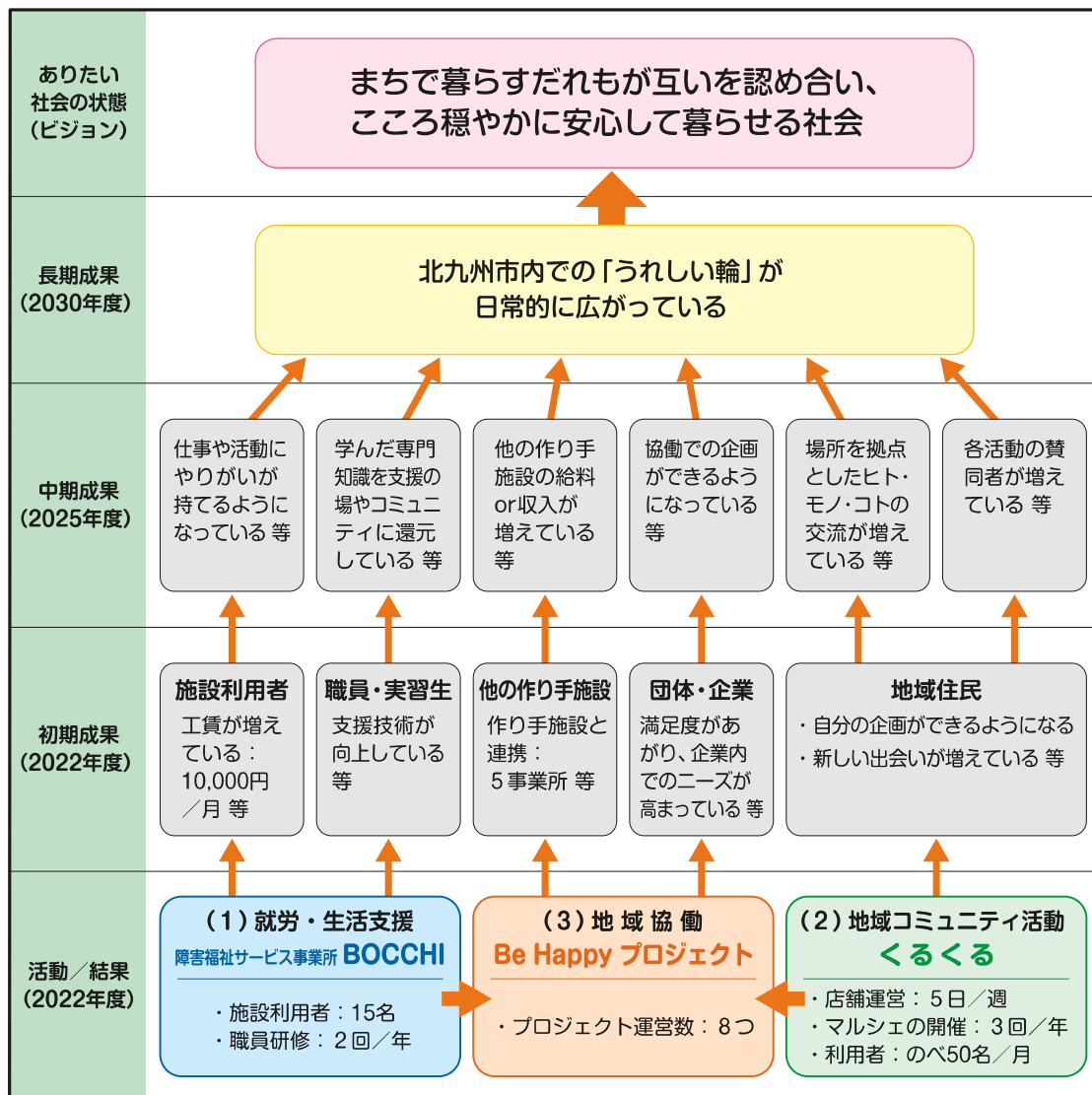
他にも以下のプロジェクトがあります

おいしい輪☆ぷろじえくと リニューアルピアノプロジェクト「ピカピアノ」
 Orihimeプロジェクト たのしい輪☆ぷろじえくと～Bamboo boon～
 みんなごはん／パントリー 寄付の教室 みんなのてらこや 虹のふもと
 シャイニング・キッズプロジェクト

2022年度事業報告

わくわーくは、事業が成果を上げるために必要な要素を体系的に図示化した「ロジックモデル」を2022年度につくりました。ビジョン(ありたい社会像)である「互いが認め合い、こころ穏やかに安心して暮らせる社会」を実現するために、まずは2030年までに北九州市内で「うれしい輪」(であう→きづく→わかる→うごく)が日常的に繰り返され、広がっていることをめざして、大きく3つの柱を立てて事業に取り組んでいます。

NPO法人わくわーくの『2022年度ロジックモデル(簡易版)』



事業

1

就労・生活支援

障がい福祉サービス事業所 BOCCHI



事業概要

障がい福祉サービス事業所BOCCHIでは、障がいを持つ方の就労訓練や生活訓練を実施しています。BOCCHI利用者はお菓子や小物づくり、販売会や店舗での準備や接客、企業から依頼された作業などに取り組みました。仕事を通して一人ひとりがその人に合った力をつけていけるように経験を積んでいけるようにしました。



▲火災予防運動の様子



▲手作り商品の販売接客



▲花壇の整備(北九州市道路サポーター)

2022年度のトピックス

- ▶ KAMIKURUプロジェクトで再生した紙を使ってアップサイクル品を製作
- ▶ 看護師、精神保健福祉士を目指す学生の実習受け入れ
- ▶ 山田緑地のこどもまつり、KEYAKIマルシェ、サンキュードラックマルシェ、スピナ販売会、中央町100円商店街など地域での販売会に参加
- ▶ 北九州市立大学フェアトレード推進団体Eticaとクッキーやケーキを製作
- ▶ 北九州観光コンベンション協会様がBOCCHIの商品を紹介
- ▶ 地域で取り組む「8のつく日はやはたの日」としてやはた一斉み拾いの日に参加

事業担当者の声

NPO法人わくわーく 理事・BOCCHI目標工賃達成指導員 宮崎 淳子

コロナ感染症による活動制限も少しずつ緩和され、野外イベントや企業様からの作業依頼も徐々に増えてきました。BOCCHI利用者が高齢化し、登録者が減少する中ではあるものの、仕事の幅も広がり活動も充実したものになってきました。



地域コミュニティ

多世代交流スペース くるくる



事業概要

わくわくの拠点となる場所は「ココクル平野」と名付けています。ココクル平野の中には、【障がい福祉サービス事業所BOCCHI】のエリアと【多世代交流スペースくるくる】のエリアがあります。くるくるのエリアにはカフェスペースの他、レンタルできるスペースやBOXがあり、講演会や演奏会、映写会など、多世代多様な方たちが集える「場」となっています。



▲定期的に行われるイベント

2022年度のトピックス

- ▶ IT's summerやココクルクリスマスの開催で多世代多様な方の交流の機会を創出
- ▶ チャリティーコンサート等さまざまな音楽コンサートを開催
- ▶ 毎週火曜日の竹炭ブレンド珈琲&カフェ時に行政書士さんの無料相談会を開始
- ▶ 第2・4土曜日は竹チェロ教室、地域食堂「みんなごはん☆」の開催
- ▶ 毎週土曜日は「みんなのてらこや」を開催

くるくる利用者の声

竹チェロ教室利用者 末永 通子さん

ワクワクタイムのススメ

右手に日常、左手に非日常、私たちは両手を往復しながら生きています。

単調になりがちな日常には、新鮮な風を吹き込みましょう。ワクワクタイムを日常に、美しい葉をはさむようにちりばめること。これがわたしのやりかたです。

極度のストレスに倒れ緊急搬送されたり、対話拒否の親族を相手に家庭裁判所に申立をしたり。日常が充実していると、さまざまな非日常と冷静に向き合い、懸命に難局を突破することができます。

「竹チェロ教室」は、わたしにとってキラキラ輝く美しい葉にほかなりません。



地域協働

Be Happy プロジェクト



事業概要

前ページで紹介した(1)の「就労・生活支援」と(2)の「地域コミュニティ」がつながると、新たな「コト」や「モノ」が作り出されます。障がい者の収入アップのみならず、その場に参加する地域の多世代多様な方が出会い、その場で作られたさまざまな「コト」や「モノ」の一つひとつを集め、共に動かすプロジェクトを【Be Happy プロジェクト】と名づけました。(詳細は特集(2~5)ページをご覧ください。)



▲たのしい輪☆ぶるじえくと～Bamboo boon～では竹チェロを制作、演奏するイベントも行っていきます

2022年度のトピックス

- ▶ KAMIKURUプロジェクトが「2021北九州SDGs未来都市アワード」SDGs大賞を受賞
- ▶ 三井住友信託銀行北九州支店にてSDGsな活動の一環として夕礼(社員研修)を実施
- ▶ Be Happy プロジェクトオンライン説明会を開催
- ▶ たのしい輪☆ぶるじえくと～Bamboo boon～がNHK(国際放送)で放映、及び令和4年度北九州SDGsクラブ交流会にて取り組みを紹介



▲小倉駅に設置されたストリートピアノ

協働先の声

一般社団法人ストリートピアノドネーションズ 代表理事 本山 晴子さん

ピアノ磨き「ピカピアノ」を協働で開発し、10台まで実績を積み上げることができました。

ピアノは、1台ごとに細部が異なるので、経験を重ねるごとに、みなさんの技術力が上がったように思います。これまで北九州市のSDGsスタートアップ支援事業として活動を広げてきましたが、今後は、一般の方への認知度向上が課題です。



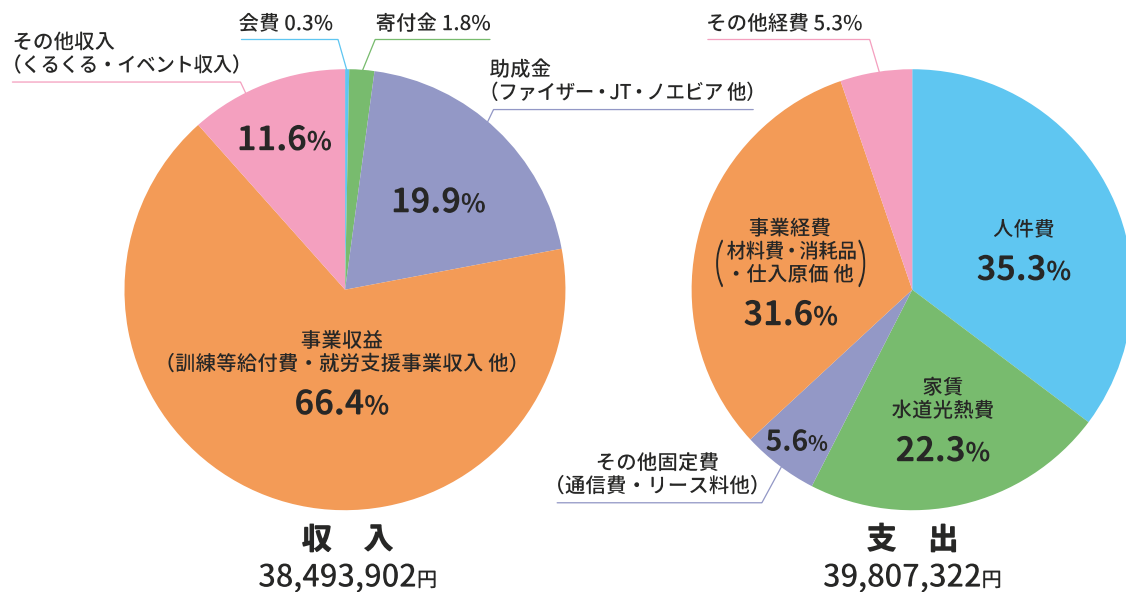
数字で見るわくわーく

1年を通してたくさんの方と交流しご協力とご支援を頂きました。
ここでは、2022年度の活動概要を数字でご紹介します。

障がい福祉サービス事業所 BOCCHI	
利用者数	15名
平均工賃	9,051円/月
利用者が行う仕事の数	10種類
多世代交流スペース くるくる	
イベント開催数(主催)	7回
Be Happy プロジェクト	
プロジェクト数	8プロジェクト
協働法人・団体数	5団体以上
置き菓子設置数	26か所

法人全体	
寄付金額	702,965円
メディア掲載回数	3回
<small>NHKニュースブリッジ北九州～全国放送～国際放送(竹楽器について)/2022年11月号ソトコト等</small>	
講演回数	8回
<small>環境ミュージアム20周年シンポジウム/KAKIKURU, リターナブル容器実証報告/北九州SDGsクラブ交流会等</small>	
民間助成事業(単独)	3団体
<small>JTSDGs貢献プロジェクト/ファイザープログラム/ノエビアグリーン財団</small>	
北九州市助成事業(協働)	2団体
<small>SDG-Xリーディングプロジェクト/SDGs市民活動スタートアップ支援事業</small>	

決算(簡易版)



当期正味財産増減額：△1,313,420円 前期繰越正味財産額：21,707,144円 次期繰越正味財産額：20,393,724円

2023年度の事業計画

わくわーくの実施する障がい福祉サービス事業と地域コミュニティ活動から生み出されるさまざまな企画(Be Happy プロジェクト)がより良く広がるように、一昨年より力をいれてきた組織の基盤整備を引き続き実施していきます。

1：就労・生活支援(障がい福祉サービス事業所 BOCCHI)

2023年度はBOCCHIの新規利用の促進と前年度から新しく始めた仕事や活動を更に充実したものとしていきたいと考えています。BOCCHI利用者が目的を持って楽しく生き活きとした時間が過ごせるようにサポートしていきます。



2：地域コミュニティ(多世代交流スペース くるくる)

コロナ感染症も落ち着きはじめ、多世代多様な方々がこの場を使ってくださることも増える見込みです。2023年度もくるくるスペースが多くの方が思いを実現する場として利用できるよう、そしてBOCCHIの利用者が充実して働くことができる場になるような空間づくりをしていきます。



3：地域協働(Be Happy プロジェクト)

おいしい輪☆ぷろじえくと、たのしい輪☆ぷろじえくと～Bamboo boon～、KAMIKURUプロジェクト、オリヒメプロジェクトなど、続々と生まれ実施している企画を継続していくためには、資金面はじめ多くの方々のお力が必要です。共に関わり進めていくための方法をわかりやすくお伝えし、賛同するパートナーを増やしていきます。





わくわーくを応援するには

私たちの活動の中でも、特に【Be Happy プロジェクト】は、みなさまの寄付によって各プロジェクトを発展させていくことができます。応援方法はさまざまあります。みなさまのご支援、ご協力をお待ちしています。

1 わくわーくが解決に挑む課題や活動を知る

メールマガジンを受け取る

わくわーくのイベント情報や活動の様子等を基本的に毎月第4金曜日にお届けします。ぜひ右記QRコードのフォームよりご登録ください。

メルマガ



SNSをフォローする

facebook



Instagram



2 わくわーくをお金で支援する

「Be Happy サポーター」になる(継続支援)

サポーターのみなさまには『年次報告書』をお送りするとともに、イベント等へご招待させていただきます。また、月1,000円以上のサポーターの方にはBOCCHIオリジナル商品も年1回お送りします。毎月250円からお選びいただけます。右記QRコードのサイトよりお手続きください。

凸と凹



寄付をする(都度支援)

好きなタイミングで好きな金額をご寄付いただけます。※わくわーくでは「遺贈寄付」も受け入れています。お気軽にご相談ください。

シンカブル



<入金方法>

(1) クレジットカード・銀行振込の場合

右記QRコードのサイトより、好きな金額を選んでお手続きください。

(2) 郵便振替の場合(電信払込みの用紙をご利用ください)

記号:17470 番号:75228601

加入者名:NPO法人わくわーく

上記以外にも、わくわーくではイベント運営等をサポートいただける方を募集しています。ご関心のある方はお気軽にご相談ください。

【企業・団体のみなさまへ】

わくわーくでは、「Be Happy パートナー」として私たちと協働する法人様を募集しています。本書の13~16ページでは、2023年度のパートナーをご紹介します。ご関心のある法人様はお気軽にご相談ください。



Be Happy Partner

DAIEI 大英産業株式会社



ありがとうございます、ここから。

朝、目覚めた時の心地よい空気。家族と元気にかわす挨拶。急ぎ足になる帰り道。にぎやかな食卓。大英産業株式会社は1968年の創業以来、そんな家族の暮らしをイメージしてあるべき住まいのカタチを考えてきました。

おかげさまで、大英産業は創業55周年を迎えます。

これまでお手伝いさせていただいたお客さまと地域の方々に感謝と敬意を払いつつ、地域の皆様に愛され、必要とされる会社であり続けたいと思っております。

エプソンは「こころとからだの健康と住みよいまちづくり」に取り組む
わくわく様を応援しています

わくわく様と共に「KAMIKURU」プロジェクトを通じて
“地域の一人ひとりが主人公となって活動できる”
そんなまちづくりを目指しています



エプソン販売の環境
共創活動はこちら！



お客様の
笑顔とともに

エプソン販売株式会社



まもるひとを育て安心安全を守り続けます



計測検査株式会社

北九州市八幡西区陣原1丁目8番3号
TEL 093(642)8231



会社HP

LIFE IS ALWAYS GROWING

不動産業界の量と質を向上させ
豊かに住み続けられる街づくりを行う



CONSULTING

— 不動産事業コンサルティング —



個人、企業に関わらず不動産事業の成長を
目指す皆様を支え、サポートさせていただきます。
これまでの実践の中で培ってきた成功事例、
ノウハウ、経験を基に中古市場への新規参入、
または既存事業の促進等を目指す企業様の
サポートをさせていただきます。

REAL ESTATE

— 不動産関連 —



お客様の暮らしに合わせて住まいのご提案や
ライフプランニング等のご相談を承ります。
宅地建物取引士、競売取扱主任者、住宅
ローンアドバイザー、ファイナンシャルプ
ランナー等の幅広い資格をもったスタッ
フが対応させていただきます。

 **Will step**
Life is always growing

〒806-0047
福岡県北九州市八幡西区鷹の巣1丁目11-1
沖口産業ビル201号
営業時間 10:00~18:00 ※土日祝定休
詳細は右記QRコードからホームページをご覧ください。



will-step.net



税理士法人 ティーエーパートナーズ

人と地域をつなぎ、豊かな未来を創造。



IZUTSUYA 小倉井筒屋
www.izutsuya.co.jp



〒805-0068 北九州市八幡東区桃園2-1-20
TEL093-671-7566 FAX093-671-7533



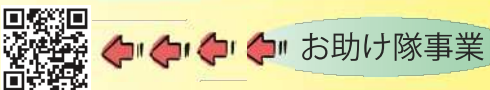
毎週土曜日
17時～20時

小学生 500円/月
中学生～高校生 1,000円/月

地域の中の色々な方が先生
小学生から高校生まで暮らしの学びもたくさん！
お問合せ：090-8220-5081
0303siawase@gmail.com



弊社ホームページ



お助け隊事業

北九州市門司区大字恒見 1323-1 TEL 093-481-0278



1級ピアノ調律技能士
ピアノ調律師 加藤 正巳

090-1332-7555 tuner440@hotmail.com

持続可能な
脱炭素社会づくりをプロデュース



株式会社 エックス都市研究所
九州事務所 TEL.093-513-2252
北九州市小倉北区堺町1丁目2-16



代表取締役社長 伊東 純一

無添加自然商品・無農薬米
遠赤の無添加ハウス

八幡東区中央2丁目19-15
TEL 093-662-5637

来店遠赤ミトプレゼント



これまでにご協力してくださった方々(敬称略)

Be Happy Supporter

- 株式会社アステック入江
- いこいの里
- エアステーションひびき
- 枝光まちづくり協議会
- 株式会社甲斐建設
- 北九州まなびとESDステーション
- 九州電力株式会社 北九州支社
- 九電ネクスト株式会社 八幡営業所
- 学校法人九州国際大学
- 公立大学法人北九州市立大学
- 北九州市立高等学校
- 北九州市 産業経済局企業立地支援課
- 北九州市 産業経済局次世代産業推進課
- 北九州市 企画調整局企画政策部企画課
- 北九州市 公営競技局
- 北九州市 障害者支援課
- 九州共立大学 SDGsチャレンジアクション研究会
- 北九州市立黒崎中学校
- グッドスピード・フォー・ヘア
- コーエー株式会社
- 福岡教育大学附属小倉中学校
- 株式会社ごとう醤油
- 五條漢堂薬局
- ササキ商事有限会社
- シャボン玉石けん株式会社
- 北九州市市民活動ポートセンター
- 新日本製薬株式会社
- 株式会社ジェイコム九州
- 株式会社スピナ
- ストリートピアノドネーションズ
- 生花堂
- セイコーエプソン株式会社(北九州オフィス)
- 株式会社成和産業
- 株式会社ゼプロス
- 株式会社ソルネット
- 株式会社大英工務店
- 中央町連絡協議会・結(YUI)
- 北九州市立德力児童館
- 富田大学堂薬局
- 株式会社ドーワテクノス
- 福岡県立中間高等学校
- 西門司学童クラブ
- 日税サービス株式会社 西日本北九州営業所
- 日鉄興亜不動産株式会社
- 日本たばこ産業株式会社 福岡支社
- 株式会社西原商事
- 則松税理士事務所
- サンキュー薬局春の町調剤センター
- 公益財団法人北九州産業学術推進機構(FAIS)
- 株式会社福岡銀行 北九州本部
- 福岡ひびき信用金庫
- 認定NPO法人フードバンク北九州ライフアゲイン
- 松延製茶園
- 森人未来ノ研究所
- サンキュー薬局門司調剤センター
- 八幡小学校放課後児童クラブ
- 八幡東田まちづくり連絡会
- やさいのかなん
- 株式会社山本工作所
- 八幡東区役所
- 福岡県立八幡高等学校
- リンクソフトウェア株式会社
- 株式会社レイメイ藤井
- 六健堂
- 特定非営利活動法人ロシナンテス
- 上野包装商会
- スタジオディーピーアイ株式会社
- 港の酒屋 みつばや
- 株式会社ウインドファーム
- いのちの旅博物館 ミュージアムショップ
- 株式会社ジェイリンク



株式会社ジーエークレアス キンコーズ小倉平和通店

〒802-0005
北九州市小倉北区堺町1-2-16
十八銀行第一生命共同ビル1F
Tel: 093-513-8166

キンコーズの
HPはこちら

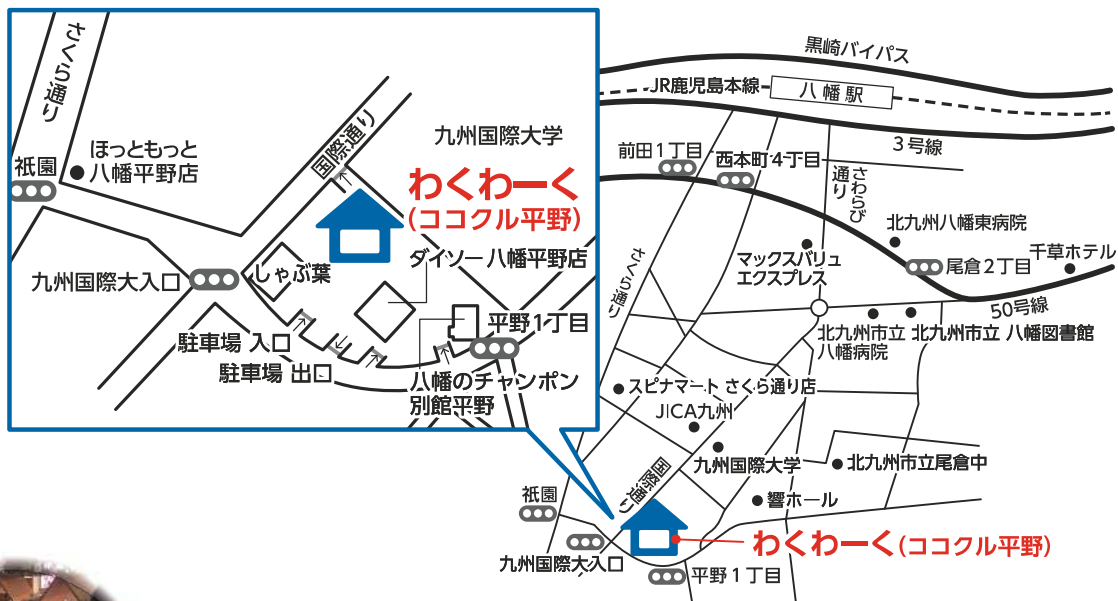


文書電子化に
ついては
こちら



NPO法人わくわく
2022年度年次報告書

発行日：2023年8月1日
発行人：小橋 祐子(NPO法人わくわく 理事長)
編集協力：合同会社めぐる
デザイン：鮎川 大智
印刷：キンコーズ 小倉平和通店
スペシャルサンクス：Be Happy サポーター
Be Happy パートナーのみなさま



NPO法人 わくわく

〒805-0062 北九州市八幡東区平野1丁目3番2号

TEL 093-671-1221

✉ wakuwakuinfo@wakuwa-ku.com

わくわく

検索

<https://www.wakuwa-ku.com/>



北九州市内で回収した古紙を **加島 KAMIKURU** -SDGs KITAKYUSHU- で再生した紙を使っています

